

認知症作業療法 活動報告（概要）

三重県作業療法士会では、H29年度より「認知症作業療法推進委員会」を設置。
R元年度の活動目標を「認知症OTの地域活動チャレンジ」と掲げ、以下の2つの柱をもとに活動した。

1. 知識と技術の研鑽の場づくり 2. OTが地域に出ていくための仕組みづくり

① 次世代の育成、協働仲間づくり

“三重県下で認知症に携わるOTとのネットワークをつくる”ことを目的に、H28年度に「みえーる認知症OT！」を設置。その中でメンバーを募り、実行委員として推進委員の取り組みに参画。

② 関係機関との連携

- ・ **認知症の人と家族の会**：OT2名が若年のつどいの世話人を担当（うち1名は代表）。本人交流会や旅行企画等の運営など活動中。
- ・ **メモリーカフェ**：H28年度より、毎月「認知症の人への回想法実践」を実施中。OT数名参加。
- ・ **地域リハビリテーション部**：鳥羽市での地域ケア会議に、輪番体制を設立し、OT派遣を実施。
- ・ **事業部**：「いつまでも運転が続けられるように」をテーマに、津市で警察の方と講演を実施。12/8は、名張市で同内容で講演依頼あり。
- ・ **三重県リハビリテーション情報センター**：OT士会に、川越町から「回想法実践」の依頼あり。

③ アップデート研修の開催

“当事者の声に耳を傾け、その思いを形にできる視点をつくる”ことを目的に、H30年度より「認知症の人と家族の会」と連携し、当事者に講演をいただいている。

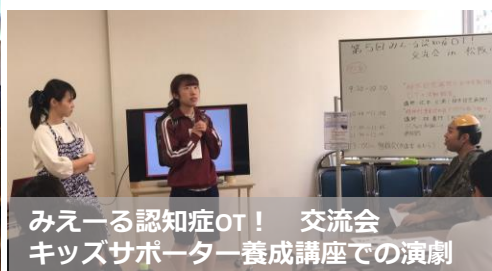
④ スキルアップ研修（地域活動チャレンジ企画研修）の開催

“認知症の人や家族に寄り添い活動できるOTを輩出する”ことを目的に、地域に飛び出す楽しさ・意味・悩み・切り口・ツールについてを、現在地域で活動中のOTから話題提供をいただいた。その後、ポスターブース形式で情報交換、具体的に地域に出るためのディスカッションを行った。当事者・ご家族・地域包括支援センター・市町職員の参加もあり、OTと地域をつなぐ場としての機能を図った。

⑤ 地域活動チャレンジ

- ・ **若年のつどい**：松阪日帰り旅行に、OT世話人2名+OT1名で参加。
- ・ **家族介護教室**：家族の会より「ストレスをためないで上手に発散するコツとは？」で講演依頼。
- ・ **回想法研修会と回想法フェス**：認知症専門医やST、四日市市とともに「回想法フェス実行委員会」を設立し、8/8に研修会、10/27に回想法フェスを開催。
- ・ **地域ケア会議**：地域リハビリテーション部と連携し、鳥羽市にてOT派遣を実施中。並行して同部と共同で行政職員参加型の「地域ケア会議 勉強会」を定期開催し、情報交換・知識研鑽を進めていく予定。
- ・ **RUN伴**：三重県10/19、10/24のRUN伴に、OT実行委員4名、OT数名が参加。
- ・ **認知症キャラバンメイト**：12月の研修会にOT数名が参加予定。

など



今後：地域活動チャレンジの継続と定着、サポート体制づくり など